



特集 栗山の未来を語る

まちづくり懇談会

町民の声を広く行政に反映させることを目的とした「まちづくり懇談会」が6月～7月にかけて、計5回行われました。前半は佐々木学町長が「町長2期目の政策」についてスライドで説明。後半は説明内容の質問・意見への回答、自由懇談を通し「栗山新時代」に向けて語り合いました。

マイナンバー制度

問 マイナンバーカード取得に不安を持つ人や、カードは不要と考える人もいると思う。今後、持っていない方が何か不幸になるようなことはあるのか。

答 個人情報管理されるという心配の声も聞きますが、カードの有無で不利になることはないと考えています。現在、町のカード取得率は約35%で全道平均を下回っており、今後想定しているデジタル化にあたり、その基盤となるカードを持つてもらうことがスタートとなります。カードの使い方は個人の選択ですが、まずは持つことをしなければならぬと考えます。

公共施設のインターネット環境

問 カルチャープラザ「Eki」のWi-Fi環境の整備がされてない。近年、リモートワークの機運が高まって

おり、また、公共施設は災害時の避難所にも指定されているのでスマホなどで情報収集ができるように整備していただきたい。

答 昨今の新型コロナウイルスの影響で、リモートワークを行うにあたり、Wi-Fi環境の設置を要望する声はこれまでもありました。町では今年度予算計上し、設置工事を予定しています。

交通安全について

問 国道234号の4車線化を行うことで、交通量は増え、車も走りやすくなると思う。先日町内では中学生の交通事故があったが、歩行者を優先し安全に通行できる交通環境を整えてほしい。

答 開発局と連携し、町民皆さんの交通安全対策と交通渋滞の解消を目的に、まずは町内の危険な交差点を改良・拡幅し、それらを繋げて4車線化を目標としています。交差点改良を行う

際には、子どもたちの安全を守ることを最優先に対応します。

介護福祉学校と栗山高校の連携

問 北海道介護福祉学校と栗山高校の魅力化について、経営は苦しいかと思うが、色々な施策を推進していると考えます。引き続きご尽力いただきたい。

答 現在、栗山高校では教育課程の変更を進めており、小中高のキャリア教育の先を繋ぎ、ケアラ支援をはじめとした本町の特色「福祉」のまちづくりを学教育活動を行うおうとしています。福祉の理念や専門性



カーボンニュートラルの推進

問 カーボンニュートラル（※）事業について推進することに賛成の立場です。そこで、事業の町の考え方についてお聞かせ頂きたい。この事業は二酸化炭素の排出量を抑えるものなのか、吸収量を増やすものなのか。

答 温室効果ガスゼロに向けた取り組みとして行いますが、まずは町として二酸化炭素ゼロに向けた戦略的なプランを今年度中に策定します。戦略プランを練りながら、栗山町全域を対象とした地球温暖化対策の実

行計画を検討し、二酸化炭素の発生量を減らす再生可能エネルギーなどの推進や森林による吸収源について、両方考えた中で取り組まないといけないと考えています。当面は、どのように削減をしていくかがメインとなりますが、町内の関係者や森林組合さんにも相談させていただきながら取り組んでいきたい。

※カーボンニュートラル

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から森林管理などによる「吸収量」を差し引き、実質ゼロにするという意味。世界共通の長期目標として2050年までの達成を目指す取り組みされている。



情報提供内容

町からの情報提供として、下記の内容を説明しました。

- ① 佐々木学町長2期目の政策
- ② 栗山町職員倫理条例の施行
- ③ 新型コロナウイルス感染状況に伴う税の減免制度
- ④ 栗山高校の現状
- ⑤ 町内会・自治会からの質問・意見に対する回答



町ホームページ
はこちら

※紙面の都合上、懇談内容の一部のみを掲載しています。町ホームページでは、懇談会の議事録や町からの情報提供資料を閲覧できます。